

220527~8 多奈川ビオトープ 鳥類標識調査 (バンディング)

- 調査日: 2022年5月27~28日
- 調査者: ●● 鳥類標識調査員
- 補助者: ●●氏
- 見学者: ●●氏、●●氏、●●氏
- 標識鳥: 今回… ウグイス(3)、メジロ(2)、ヒヨドリ(2)、ホオジロ、センダイムシクイ



※冬鳥は既に去り、繁殖期の現在、営巣場所周辺からあまり動かないので、捕獲個体は少なかったと推測

【参考】 前回(4月7~8日)は、アオジ(2)、シロハラ(2)、ホオジロ(4)、ウグイス(5)(うち同個体の再捕獲1)、メジロ(2)、シジュウカラ(2) の計6種21羽を標識・放鳥

鳥類標識調査 (バンディング) とは…?

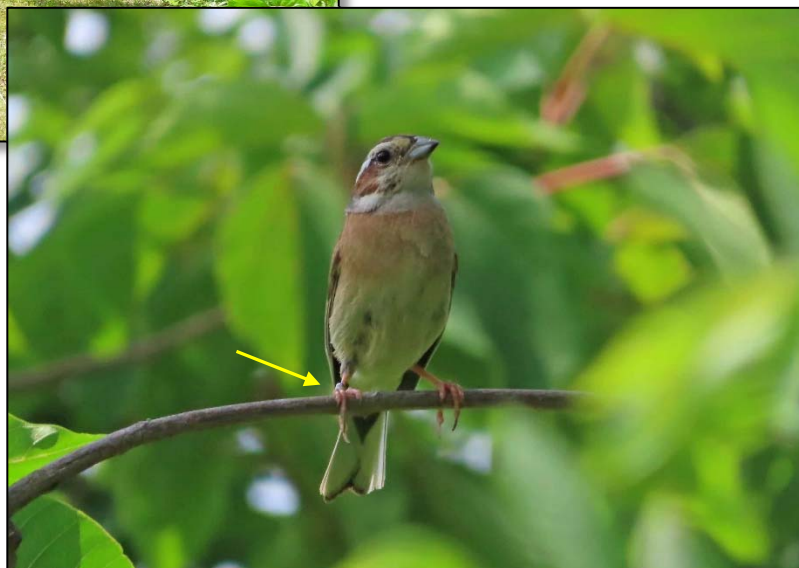
- かすみ網等を用いて捕獲した一羽一羽に、個体識別可能な「足環」などの「標識」を付けて放鳥し、観察や再捕獲によって、その野鳥の移動や年齢などを明らかにすることを目的とする
- 日本では、環境省が山階(やましな)鳥類研究所に委託して実施中
- 1961年から2020年までの間に、およそ500種620万羽以上が標識・放鳥されている
- 標識調査を行う人を「鳥類標識調査員(バンダー)」といい、山階鳥類研究所の認定を受け、環境省の捕獲許可を受けて調査を行う
- 多奈川ビオトープでは、岬町様の多大なご協力により、今年4月から調査を実施している



捕獲場所 I
(全長24mのかすみ網を設置)

5/28に撮影したホオジロ
(前日或いは先月、標識・放鳥された個体)

※右足に「足環」が装着されています





↑ 捕獲場所2 (網延長12m)



↑ 捕獲場所3 (網延長12m)



↑ 足環装着



↑ 同左



↑ 足環装着完了



↑ 計測 (雌雄判定)



↑ 体重測定



↑ 放鳥